

韓国留学

情報文化学科 2年 佐藤帆乃佳

*はじめに

私は8月31日から12月26日までの約4か月間、韓国ソウルにあるキョンヒ大学に留学しました。留学へ行く前は期待半分、異国の地で自分で生活できるのかという不安半分でした。自分が留学するという実感も、なかなか湧きませんでした。しかし、いざ到着すると不安は消えて、これからどんなことを経験するのかわくわくしながら、私の留学生活は始まりました。

*授業

私たちはキョンヒ大学の語学堂で毎日午前中に4時間韓国語の勉強、月から木の午後に韓国の文化について勉強しました。

まず午前の韓国語の勉強についてです。クラスはテストによって振り分けられました。最初の3週間は、新潟ですでに勉強した初級1の復習のような形でまだ簡単でしたが、説明はすべて韓国語でした。まだこの頃は、韓国語での説明が難しく、ただただ聞いているだけでした。そのあと1週間は、国情組だけで3週間では補え切れなかった部分をやりました。9月に入ると、またクラスが変わり、私たちは初級2に進みました。1, 2限は文法、3, 4限はリスニング、リーディング、スピーキング、ライティングを日替わりでやりました。毎日韓国語で授業を受け、教科書もどんどん進んでいくので、どんどん力がついていきました。この頃になると、韓国語での説明ももう自分の中で当たり前になっていって、質問もできるようになりました。しかし、やはり日本語とはニュアンスが違っていたり、理解できないところもありました。そのようなところは、日本人の友達と協力して教えあって勉強しました。テストも2回あったので、みんなで協力しながらたくさん勉強しました。3か月みっちり勉強したあとは、2週間国情組だけでTOPIC試験の対策をしました。

午後は、毎日違うことを学びました。月曜日は毎週違って、折り紙で韓服を作ったり、韓国の伝統的なゲームをしたり、公演を見に行ったり、習字をしたりと楽しく韓国の文化に触れました。また、現代事情や歴史を学ぶこともありました。中でもテコンドーは特に楽しかったのでおすすめです。火曜日は映画の授業でした。映画を実際に見たり、中で出てくる単語を学んだりしました。水曜日は歌の授業で、ひとりひとり好きな歌を発表して、みんなで歌ったり聞き取りの練習をしたりしました。木曜日はゼミで、韓国について自分の気になることについて調べ、発表しました。レポートも原稿もパワーポイントも全部韓国語で、発表も



韓国語でしたのでとてもたいへんでしたが、そのおかげでとても力が付きました。

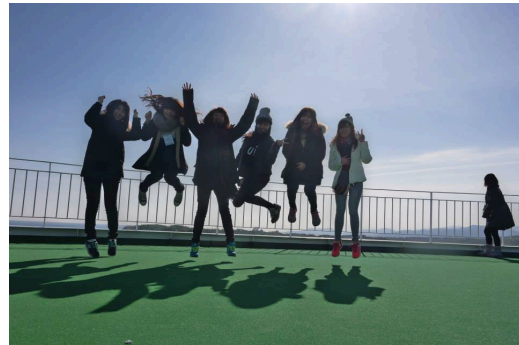
* 学校生活

クラスは最初の3週間は夏休みなこともあって、ほぼ日本人だけのクラスでした。授業以外は日本語でみんな話していたので、正直韓国語がちゃんと上達するのか不安ばかりでした。しかし9月からのクラスは、国情のみんなもばらばらになって、他国の人と交流する絶好の機会となりました。わたしのクラスには、日本、中国、香港、タイ、スウェーデン、サウジアラビア、ヨルダンの人が出て、多様な国の友達ことができました。女子同士は特に仲が良く、ご飯を食べに行ったりプリクラを撮りに行ったりしました。特に、1



泊2日のソラクサンでの現地学習で、一晩一緒に過ごしてたくさん話して、さらに仲が深まったと思います。話していると国籍の壁なんて全く感じなくて、とても楽しい時間でした。日本人同士は歳も近くてとても仲良くなったし、慕ってくれるかわいい妹もできたし、ほぼみんな年上なこともあって妹みたいにかわいがってくれて、みんながとても大好きになりました。また、国情のみんなが別々のクラスになったことによって、ほかのクラスの友達もたくさんできたし、学校の外でも遊んだりご飯を食べたりして、とても楽しかったです。学校へ行くのが嫌な日もなく、たくさんの友達ができ、楽しい学校生活が送れました。

泊2日のソラクサンでの現地学習で、一晩一緒に過ごしてたくさん話して、さらに仲が深まったと思います。話していると国籍の壁なんて全く感じなくて、とても楽しい時間でした。日本人同士は歳も近くてとても仲良くなったし、慕ってくれるかわいい妹もできたし、ほぼみんな年上なこともあって妹みたいにかわいがってくれて、みんながとても大好きになりました。また、国情のみんなが別々のクラスになったことによって、ほかのクラスの友達もたくさんできたし、学校の外でも遊んだりご飯を食べたりして、とても楽しかったです。学校へ行くのが嫌な日もなく、たくさんの友達ができ、楽しい学校生活が送れました。



* トウミ制度



私たちは語学堂に通っていたので、他国の友達はたくさんできましたが、韓国人と触れ合う機会はとても少なかったです。なので、トウミ制度はとても役立ちました。私たちは申請を自分でしなくても、もうトウミがついていて、どんなトウミになるかは運次第でした。その中で、わたしはとても恵まれていました。私のトウミはミンジョンさんというお姉さんで、とてもかわいくてきれいで優しくて、そして韓国語の向上

の手助けをたくさんしてくれました。1週間に1度、一緒にご飯を食べたり遊びに出かけたりしました。日本語ができたので、最初のうちは私がわからないと日本語で説明してくれました。しかし、1週間に1度ずっと韓国語で会話するというのは、とても役に立つことで、一緒に過ごすうちに韓国語でなんでも話せるようになりました。途中から竹部君も混ざって3人でご飯を食べることも多くなって、俺のトウミだーわたしのトウミだーとよく争っていました。ゼミでも、とても助けになってくれました。忙しい中で毎週欠かさず会ってくれて、たくさんのことを教えてもらって、本当のお姉ちゃんができたみたいでとてもうれしかったです。

* 寄宿舍生活

私たちは、キョンヒ大学最寄りのフェギ駅のすぐ真横にある寄宿舍で生活していました。できて2年くらいだったのできれいな寄宿舍でした。去年行った人たちの報告書でゴキブリが出るのを心配していましたが、私たちの部屋は出ませんでした。隣の部屋とその隣の部屋は出たそうです。でも、きれいで立地も良くて、とても快適に過ごせました。

キッチンがついていたので、よく自炊をしていました。自炊できたので、最初のうちはみんなで集まってご飯を食べたりパーティなどもしていました。私は特に、ルームメイトの志穂さんと、隣の部屋の華さんと美涼さんと4人で夕ご飯を食べていました。ご飯を食べるとき寂しいのは嫌だったので、毎回わいわい楽しく食事ができてうれしかったです。部屋でみんなでジェンガをしたりくだらない話をしたり、誕生日にはサプライズをしたりと、部屋の中もいつも楽しくて、国情韓国組のみんなとの仲も深まりました。



また、ルームメイトの志穂さんとは、留学に行く前よりも仲良くなることができました。一緒にどこか遊びに行ったりご飯を食べに行ったりもそうですが、夕ご飯に何を食べるか相談したり、いろんなことを話したり、テスト前はふたりで遅くまで一緒に床で勉強したり、どんどん仲良くなっていきました。大雑把な私と大雑把な志穂さんだったので部屋は散らかりがちでしたが、何の気も遣わなくて自由気ままにふたりで過ごしていました。ちゃんと暮らせるか心配だった私と、楽しく暮らしてくれた志穂さんがとても大好きです。こんな私と一緒に暮らしてくれて本当に感謝しています。

* 日常生活

寄宿舎が駅のすぐ横ということもあって、午後に授業のない金曜日や休日は電車に乗っていろいろなところへ買い物に行ったり、遊びに行ったりしました。韓国は物価が安いのでショッピングもたくさんしたし、好きな芸能人の出待ちやサイン会にも行ったし、遊園地や壁画村など楽しめるところがたくさんありました。電車ですべてどこでも行けてとても便利でした。お金をあまり使いたくないなというときも、秋は学校に行けば紅葉がきれいで紅葉狩りができたし、12月に入るとイルミネーションがとてもきれいで、お金を使わず楽しめました。

また、私たちの住んでいたフェギは学生が多いということもあって、安くておいしいお店がたくさんあり、みんなでよくご飯を食べに行きました。大食い大会をしたり、お店をはしごしたり、食後にパッピンスを食べに行った日もあるくらい、おいしい食べ物がたくさんありました。確実に太りました。辛い物ばかりというイメージでしたが、日本人の口に合うものもたくさんあったし、その辛い物も食べていくうちに慣れて平気になり、人間は環境に適応するんだと身を持って感じました。お店の人も優しい人が多くて、特におばさんやおじさんはよくサービスしてくれました。フェギはかわいいカフェも多くて、テスト前はよくカフェで勉強していました。おいしいものがたくさんで、食べるのが好きな私は本当に幸せでした。

遊びに行くことにも、買い物することにも、ご飯を食べることにも全部韓国語が関わってくるので、外に出るといってそのものが勉強になりました。寒くて外に出るのが嫌な日もありましたが、いろんなところに足を運んでよかったですと思います。



*最後に

毎日たくさん詰まっていた4か月はとても短かったようで、とても長かったです。こんなに1日1日が詰まった毎日は今後ないと思います。毎日韓国語に触れて、とてもよい環境で勉強することができて、どんどん韓国語がわかるようになるのがとてもうれしかったです。韓国に到着して最初に韓国語で買ったマック。全然うまく買えなくてハッピーセットになって、みんなで4か月後はしっかり買えるようになりたいねと話したことを覚えています。帰る前にみんなでマックへ行って、コーラじゃなくてサイダーにしてくださいと言えた時、最初より上達したなと実感しました。

それから、今まで教科書で見たり、聞いていただけだったことを、実際に体感しました。韓国では、年上の人をととても尊敬するという事は知ってはいましたが、想像を超えてい

て、電車の中で若者は絶対に優先席に座らないし、敬語も日本よりもとても厳しくて勉強するのがたいへんでした。カップルはパールックを着てラブラブで道を歩いていたし、花束を持って歩いている人もたくさんいたし、ドラマの中で繰り広げられていたものが、自分の目の前に実際にあるというのは新鮮でした。また、日本の良さも改めて感じました。水道水が飲めるということ、道がどこもきれいということ、日本も韓国もそれぞれ良いところがあって、悪いところもありました。私が今まで当たり前だと思っていたことは一歩外に出たら当たり前じゃなくて、それに気づけた留学でした。

そしてなにより、私は人に恵まれているということ。毎日楽しく充実した生活を送ることができたのは、たくさんの人のおかげです。文句も言わず一緒に準備してくれて笑顔で送り出してくれた家族、お世話をして助けてくださった先生方、毎日くだらないことで笑わせてくれて新潟から一緒にがんばった国情韓国組のみんな、仲良くなって思い出をたくさん作った韓国で出会ったたくさんの友達、たくさんお世話になったトウミのオンニ、スカイプで現状報告しあったほかの留学先へ行った友達、スカイプや LINE で寂しいときに元気をくれて待っていてくれた日本の大切な友達、みんなに感謝です。ありがとうございました。留学に行ってさらに人が好きになりました。感謝を忘れずに、留学で学んだことを生かしながら今後も生活していきたいです。